

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年12月6日(2018.12.6)

【公開番号】特開2016-214524(P2016-214524A)

【公開日】平成28年12月22日(2016.12.22)

【年通号数】公開・登録公報2016-069

【出願番号】特願2015-102423(P2015-102423)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

【手続補正書】

【提出日】平成30年10月22日(2018.10.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技価値を用いて賭数を設定することにより識別情報の可変表示を行う可変表示手段を備え、該可変表示手段に導出表示された表示結果が再遊技を示す場合、新たに遊技価値を用いることなく賭数が設定されるスロットマシンにおいて、

再遊技に応じて賭数が設定されたときに情報を出力する情報出力手段と、

遊技に関する異常を検出する異常検出手段と、

前記異常検出手段に異常が検出されたとき異常情報を出力する異常情報出力手段と、

を備え、

前記異常情報出力手段は、

識別情報の可変表示が実行されていないタイミングで前記異常検出手段により異常が検出された場合、該タイミングから異常情報を出力し、

識別情報の可変表示を開始してから再遊技に応じて賭数が設定されるまでの期間内の所定タイミングにおいて前記異常検出手段により異常が検出された場合、該再遊技に応じた賭数の設定後に異常情報を出力するとともに、該再遊技の賭数設定に応じて出力される情報の出力が完了する以前に、該異常情報の出力を開始する

ことを特徴とするスロットマシン。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

(1)遊技価値を用いて賭数を設定することにより識別情報の可変表示を行う可変表示手段(左リール2L、中リール2C、右リール2R)を備え、該可変表示手段に導出表示された表示結果が再遊技を示す場合、新たに遊技価値を用いることなく賭数が設定されるスロットマシンにおいて、

再遊技に応じて賭数が設定されたときに情報を出力する情報出力手段(外部出力基板1000)と、

遊技に関する異常を検出する異常検出手段（メイン制御部41）と、  
前記異常検出手段に異常が検出されたとき異常情報を出力する異常情報出力手段（外部  
出力基板1000）と、  
を備え、

前記異常情報出力手段は、

識別情報の可変表示が実行されていないタイミングで前記異常検出手段により異常が  
検出された場合、該タイミングから異常情報を出力し、

識別情報の可変表示を開始してから再遊技に応じて賭数が設定されるまでの期間内の  
所定タイミングにおいて前記異常検出手段により異常が検出された場合、該再遊技に応じ  
た賭数の設定後に異常情報を出力するとともに、該再遊技の賭数設定に応じて出力される  
情報の出力が完了する以前に、該異常情報の出力を開始する（ステップSj3～Sj10  
、ステップSk420、Sk4201、Sk421、Sk422、図38）。